



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月12日

上場会社名 兼房株式会社
 コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 鈴木 仁
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

TEL 0587-95-2821

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	15,390	7.3	1,707	29.9	1,641	23.9	1,144	25.8
2018年3月期第3四半期	14,339	12.1	1,314	89.3	1,324	68.0	909	59.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 851百万円 (△11.5%) 2018年3月期第3四半期 962百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	82.34	—
2018年3月期第3四半期	65.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	28,689	23,535	82.0
2018年3月期	27,790	22,996	82.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 23,535百万円 2018年3月期 22,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.50	—	15.00	22.50
2019年3月期	—	7.50	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	22.00	29.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	1.3	2,010	15.4	2,000	25.6	1,370	31.0	98.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) カネフサベトナム マニユファクチャリ ングCO., LTD. 、 除外 — 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	14,310,000 株	2018年3月期	14,310,000 株
2019年3月期3Q	409,692 株	2018年3月期	409,691 株
2019年3月期3Q	13,900,309 株	2018年3月期3Q	13,900,452 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況 (製品別売上高、国内・海外別売上高)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、イタリア、フランスなど欧州諸国の財政問題や英国のEU離脱、米中貿易摩擦や中国の過剰債務問題など、先行き不透明感が深まる中、欧州や中国などで景気の減速基調が強まり、主に財政政策により好調を維持してきた米国経済も企業活動の一部に陰りが見え始めています。日本経済は、夏場の自然災害の影響は収束し、企業活動は引き続き緩やかな持ち直し傾向にあるものの、世界経済の減速により輸出を中心に力強さを欠いてきています。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、住宅関連刃物が前年同期比ほぼ横這いとどまったものの、非住宅関連刃物は堅調に推移しました。一方、海外での売上は、中国市場が前年同期比微増となりましたが、東南アジア、米州、欧州市場などは好調でした。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は153億9千万円（前年同期比7.3%増）となりました。

利益面につきましては、生産性向上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は17億7百万円（前年同期比29.9%増）となり、営業外費用で為替差損7千7百万円を計上したことなどから、経常利益は16億4千1百万円（前年同期比23.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億4千4百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向け、海外向けともに自動車関連刃物などが増加したことから、売上高は124億4千5百万円（前年同期比6.9%増）となり、生産性向上など売上原価が改善したことなどにより、営業利益は10億3千6百万円（前年同期比50.3%増）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物及び自動車関連刃物などが増加したことから、売上高は23億3千9百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益は2億4百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

③ 米国

鋼管関連刃物及び自動車関連刃物などが増加したことから、売上高は12億6千6百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は7千8百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

④ 欧州

自動車関連刃物及び木工関連刃物などが増加したことから、売上高は17億9千3百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は1億6千2百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

⑤ 中国

自動車関連刃物などが輸出向けを中心に堅調でしたが、中国国内向けの鋼管関連刃物などが減少し、売上高は16億8千5百万円（前年同期比1.4%増）の微増となり、営業利益は8千5百万円（前年同期比37.4%減）と減益になりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて8億9千9百万円増加して286億8千9百万円となりました。流動資産は現金及び預金などが減少し、前期末比3千4百万円減少の148億4千3百万円となりました。固定資産は有形固定資産などが増加し、前期末比9億3千4百万円増加の138億4千5百万円となりました。

(負債)

負債は、その他流動負債が増加したことなどにより、前期末比3億6千万円増加の51億5千4百万円となりました。

(純資産)

純資産は、その他の包括利益累計額が前期末比2億9千2百万円減少したものの、利益剰余金が前期末比8億3千1百万円増加し、前期末比5億3千8百万円増加の235億3千5百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の82.8%から82.0%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,898,614	4,619,711
受取手形及び売掛金	4,697,882	4,546,945
電子記録債権	572,248	664,059
商品及び製品	1,673,221	1,806,378
仕掛品	944,553	971,170
原材料及び貯蔵品	1,498,122	1,897,902
その他	606,263	349,392
貸倒引当金	△12,300	△11,805
流動資産合計	14,878,605	14,843,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,011,651	4,117,335
機械装置及び運搬具(純額)	4,611,598	4,738,554
その他(純額)	2,593,934	3,026,077
有形固定資産合計	11,217,183	11,881,967
無形固定資産	461,285	892,336
投資その他の資産	1,233,031	1,071,423
固定資産合計	12,911,500	13,845,727
資産合計	27,790,105	28,689,482

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,144,264	2,210,669
未払法人税等	354,227	204,822
賞与引当金	390,913	154,797
その他	1,212,819	1,966,717
流動負債合計	4,102,225	4,537,006
固定負債		
退職給付に係る負債	340,151	319,537
その他	351,210	297,473
固定負債合計	691,361	617,011
負債合計	4,793,586	5,154,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	17,797,680	18,629,440
自己株式	△208,742	△208,743
株主資本合計	21,899,327	22,731,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	486,702	375,518
為替換算調整勘定	669,185	480,941
退職給付に係る調整累計額	△58,696	△52,081
その他の包括利益累計額合計	1,097,191	804,378
純資産合計	22,996,519	23,535,465
負債純資産合計	27,790,105	28,689,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	14,339,504	15,390,686
売上原価	9,504,449	10,035,822
売上総利益	4,835,055	5,354,864
販売費及び一般管理費	3,520,937	3,647,819
営業利益	1,314,117	1,707,044
営業外収益		
受取利息	3,934	5,970
受取配当金	15,683	15,828
為替差益	3,400	—
デリバティブ評価益	—	2,706
その他	26,750	28,057
営業外収益合計	49,768	52,563
営業外費用		
売上割引	33,681	38,025
為替差損	—	77,823
デリバティブ評価損	2,291	—
その他	3,003	2,091
営業外費用合計	38,975	117,940
経常利益	1,324,909	1,641,667
特別利益		
固定資産売却益	1,000	3,333
特別利益合計	1,000	3,333
特別損失		
固定資産売却損	446	3,009
固定資産除却損	9,927	6,405
特別損失合計	10,374	9,414
税金等調整前四半期純利益	1,315,535	1,635,586
法人税等	406,048	491,068
四半期純利益	909,486	1,144,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	909,486	1,144,517

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	909,486	1,144,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,111	△111,183
為替換算調整勘定	△109,905	△188,244
退職給付に係る調整額	40,993	6,614
その他の包括利益合計	53,199	△292,813
四半期包括利益	962,686	851,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	962,686	851,703
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、カネフサベトナム マニュファクチャリングCO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	8,749,441	1,564,251	1,097,560	1,600,637	890,978	13,902,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,887,098	438,485	—	44	771,885	4,097,513
計	11,636,540	2,002,736	1,097,560	1,600,682	1,662,863	18,000,382
セグメント利益	689,655	189,196	77,180	160,706	136,301	1,253,039

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	436,635	14,339,504	—	14,339,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	135	4,097,648	△4,097,648	—
計	436,770	18,437,153	△4,097,648	14,339,504
セグメント利益	49,304	1,302,344	11,772	1,314,117

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びブラジルの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額11,772千円には、セグメント間取引消去123,149千円、棚卸資産の調整額△101,688千円、その他△9,687千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	9,122,678	1,727,349	1,265,662	1,793,752	852,643	14,762,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,322,551	612,329	768	—	832,955	4,768,604
計	12,445,229	2,339,678	1,266,430	1,793,752	1,685,599	19,530,690
セグメント利益	1,036,412	204,403	78,399	162,627	85,358	1,567,200

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	628,600	15,390,686	—	15,390,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	271	4,768,875	△4,768,875	—
計	628,872	20,159,562	△4,768,875	15,390,686
セグメント利益	46,823	1,614,024	93,020	1,707,044

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル、メキシコ及びベトナムの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額93,020千円には、セグメント間取引消去109,061千円、棚卸資産の調整額△8,286千円、その他△7,754千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第3四半期実績		当第3四半期実績		前年同期比 (%)	2019年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平 刃 類	4,461	31.1	4,668	30.3	4.6	6,030	30.5
精 密 刃 具 類	3,016	21.0	3,195	20.8	6.0	4,180	21.1
丸 鋸 類	6,664	46.5	7,328	47.6	10.0	9,350	47.2
商 品	196	1.4	197	1.3	0.3	240	1.2
合 計	14,339	100.0	15,390	100.0	7.3	19,800	100.0

② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第3四半期実績		当第3四半期実績		前年同期比 (%)	2019年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国 内	7,666	53.5	8,002	52.0	4.4	10,530	53.2
海 外	6,673	46.5	7,388	48.0	10.7	9,270	46.8
ア ジ ア	3,259	22.7	3,526	22.9	8.2	4,480	22.6
ア メ リ カ	1,517	10.6	1,789	11.6	17.9	2,260	11.4
ヨ ー ロ ッ パ	1,748	12.2	1,947	12.7	11.4	2,380	12.0
そ の 他	147	1.0	124	0.8	△15.6	150	0.8
合 計	14,339	100.0	15,390	100.0	7.3	19,800	100.0